

若いご両親にお伝えしたいこと

★現実に直面し、受け入れましょう。

お子さんの障がいについて正しい知識を持ちましょう。基礎知識はあなたの不安や混乱を少なくし、今後への新しい扉が開き、勇気の元となります。



★早い段階で周囲の人に知ってもらいましょう。

障がいのあるお子さんを育てるには、周囲の人たちの理解や温かい励ましと手助けが支えになります。出来るだけ早い内に肝心な点だけでも知ってもらいましょう。

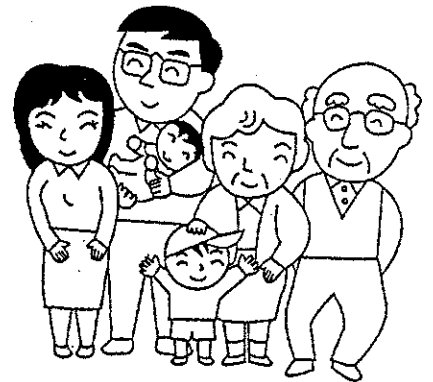


★子どもは必ずあなたの愛にこたえてくれます。

子どもをこよなく愛するとき、お子さんは間違いなくあなたの愛に答えて、あなたを励ましてくれるでしょう。勇気を出して、お子さんにひそんでいる可能性を引き出すことに、とりかかりましょう。

★子どもの成長を見守りましょう。

障がいのある子どもたちは、普通の子どもとは発達のパターンや速度が異なることがあります。しかし、この子らにひそんでいる可能性は、目を見張るものがあります。周囲の支援を受けながら、子どもの成長を見守りましょう。



★今こそ夫婦お互いが必要な時です。

子育ては、夫婦お二人で担っていただきたいものです。お子さんに障がいがあればなおさら、二人で担えば重荷も軽くなります。お互いのいたわりと励ましを元に今ほどお互いが必要な時はありません。

★あなたは一人ではありません。

あなたの周りには同じ境遇の人が意外に多くいます。先輩のご家族がどんな生活して来られたか聞いて見るのもいいでしょう。きっと、あなたの気持ちを誰よりも理解して、数々の体験を話してくれるでしょう。地域の相談員や育成会（親の会）へご連絡されることをおすすめします。

